

臨床研究における研究対象者等への通知又は公開事項

研究課題	アミロイドーシス病型診断のためのウサギモノクローナル抗体開発
試料・情報の収集・利用目的	全身性アミロイドーシスの代表的病型である AL κ 、AL λ 、ATTR アミロイドーシスを良好に鑑別できるウサギモノクローナル抗体を作成する。 これらの抗体を日本国内はもとより全世界に配布することにより、病型診断のための免疫染色を標準化することが出来、一般病理施設でのアミロイドーシスの正確な病型診断が実現する。
試料・情報の収集・利用方法	☒ カルテ閲覧 ☒ アンケート ☐ 聞き取り ☐ 侵襲的方法 ☐ その他()
試料・情報の収集源	☒ カルテ ☐ カルテ以外() ☒ 人体から取得された試料 (標本)
利用し、又は提供する試料・情報の項目	☒ カルテ情報 (患者イニシャル、性別、年齢、既往歴、現病歴、治療歴) ☒ アンケート内容 ☐ 聞き取り内容 ☐ その他()
提供方法(ある場合)	☒ 郵送 ☐ 電子媒体 ☐ その他()
利用する者の範囲	☐ 院内のみ ☐ 院外の参加者あり ☒ 提供先()
試料・情報の管理について責任を有する者	所属; 福井大学医学部病因病態医学講座分子病理学分野 職名; 教授 氏名; 内木宏延
利用又は他の研究機関への提供を拒否できる機会	☒ 保障 ☐ 保障不可能 ☐ 未定
研究対象者又は代理人の求めの受付方法	☒ 郵送 ☒ メール ☐ ホームページの指定フォーム入力 ☐ 病院受付 ☒ 電話 ☐ その他()
研究の資金源	アルナイラム・ファーマシューティカルズ Alnylam Pharmaceuticals,Inc.との共同研究契約に基づく研究費を用いて行う。
研究に係る利益相反の状況	アルナイラム・ファーマシューティカルズ Alnylam Pharmaceuticals,Inc.と共同研究していることを福井大学利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態であると判定されている。このことを十分に認識した上で、公正に研究を遂行し、研究対象者に不利益になることや、研究結果を歪曲することはしない。また、当該研究経過を定期的に福井大学臨床研究利益相反審査委員会に報告し、公正性・信頼性を保つ。
個人の収益などの有無	無